

拝啓、今回から冒頭文を少し簡略化させて頂きます。

元の冒頭文に興味がおありの方は、本手紙のバックナンバーをご覧ください。いずれにしましても私は、地元警察が「天皇陛下のご命令です」と明言して、健康状態を毎月欠かさずチェックしに来てくれる、そんな特別な人間なのです。

その積もりでお読み頂ければ幸いです。

今回は「あのトヨタでさえ無意味かつ有害無益」という話です。

これは即ち「営利企業は全て無意味かつ有害無益」ということでもあります。

「エエーッ」と驚愕きょうがくされたでしょうが「人生とは何か」の明答を正しく知っている私（覚者）からすれば、当然過ぎるほど当然のことなのです。

現代人誰もが「エエーッそんなバカな」と思うのは、人生とは何かの「迷答」を信じ込まされて「明答」を知らないからなのです。

人生とは何かの「迷答」とは「人生は富や名声の追求競争である」です。

貴方もそう思い込まされて「無意味かつ有害無益なこと」に、人間としてこの世に生を受けた折角の大幸運を、空しく浪費し続けてはおられませんか。

「人生とは何か」の明答は、バックナンバーの救世手紙四をご再読ください。

それは「神仏の分身生活」であり、この星地球を、より一層完全な神仏の樂園に進化させてゆくことこそなのです。

聡明無比な徳仁今上天皇は、既にこの「真実」にお気づきであると確信します。だからこそ、私に対する「警察」の現行対応であるはずなのです。

ロシアのプーチン大統領も同様です。これは救世手紙七をお読みください。